



保護司として尽力 瑞宝双光章受章



令和2年秋の叙勲で、山崎初^{はじめ}さんが『瑞宝双光章』を受章されました。山崎さんは、平成7年10月に保護司に委嘱されてから25年以上、犯罪や非行に陥った人の更生を図るため、生活上の指導・助言や就労の手助けなどを行い、見届けてきました。また、平成22年5月からは、川辺保護区保護司会理事兼事務局長として3市（南さつま市・枕崎市・南九州市）保護司会の運営などにも大きく貢献されています。

長年の生涯学習・読書活動を表彰



全国公民館連合会永年勤続職員表彰を受けた個人と県の優良読書グループ表彰を受けた団体が、2月2日に教育長を表敬訪問しました。益山地区公民館主事の上村やよいさんは、平成17年から地域住民の生涯学習の推進や相互連携などに大きく寄与されました。また、読書グループ「おはなしととけっこう」は、平成22年から保育園や小学校でおはなし会を開催するなど、読書活動の継続的かつ積極的な取り組みが評価されました。

良質の葉たばこ生産を願って



1月22日、加世田高橋の加世田育苗センターで、加世田・川辺地区の葉たばこは種式が行われ、加世田総代区12人、川辺総代区6人の生産者のほか関係者が参加し、今年も良質な葉たばこが生産できることを祈願しました。参加者は、葉たばこの種を黄色い鹿沼土と混ぜて容器に取り分け、ムラがないように育苗箱にまきました。1月5日には、金峰総代区でもは種式が行われました。

クルマで「映える」を撮りにいこう！



「かごしまフォトドライブプロジェクト」は、「『映える』を撮ろう。クルマと行こう。」のコンセプトのもと、観光資源の新たな発掘と発信のため、県と県オールトヨタが中心となって「フォトドライアワード」を認定しています。SNSなどを通じて応募を呼びかけ、約1,000件の応募の中から、17か所が認定されました。本市からは「サンセットブリッジ」と「亀ヶ丘」が認定され、1月19日、本坊市長に認定証が贈呈されました。